

家庭学習についてのお願い

いちき串木野市立荒川小学校

自ら意欲的に学習に取り組む子どもを育てる上で、学校と保護者が連携した家庭学習の実践は大きな役割をもっています。ただし、自主的に取り組むことが大切なことから子ども任せでは、何も期待はできません。やはり、発達段階や子どもの実態に即した適切な指導が必要と考えます。

そこで、荒川小学校では、学習の習慣化及び基礎学力の向上を図るために、家庭学習における全校共通実践内容を以下のようにまとめてみました。それぞれ実践されていることとは思いますが、今一度確認され、参考にさせていただきたいと考えます。御理解・御協力のほどお願いいたします。

1 家庭における学習の約束について

① 学習の場所と時間を決めましょう

- ◇ 学習の場所については、基本的に学習机で学習する習慣を付けさせましょう。ただし、テレビや ICT 機器等が近くにあると集中できませんので、集中できる環境を整えましょう。
- ◇ 学習時間については学年×10分+20分 1年-30分, 2年-40分, 3年-50, 4年-60分, 5年-70分, 6年-80分を目安に取り組みせましょう。

② 学習する時刻を決めましょう

- ◇ 学習の習慣化を図る上で、学習をはじめる時刻は大切です。小学校の段階では、まず帰ってきたらすぐに取りかかる習慣を付けさせましょう。

③ 学習する内容について工夫しましょう

- ◇ 主な学習内容は、宿題や宅習になるかと思えます。ただし、読書や本読みに取り組む時間や曜日も決めましょう。(※ スケジュール表などを作成する。)
例) 夕読みは学習が終わった後に。読書は金曜日の8時から家族みんな等で・・・。

④ すべて終わったら学習したノートなどを届けさせ、確認しましょう

- ◇ 子どもの集中力は、学年が上がるにつれて増していきませんが、家庭の学習ではただらと取り組んでしまうこともあるかと思えます。そこで、終わりの時間を決め、できるだけ集中させるようにしてください。また、必ず学習したものには保護者の方で目を通していただき、内容を確認してください。できれば、提出場所などをあらかじめ決めておくとういでしょう。

2 家庭学習を充実させるための確認内容について

① 学習の場を整えさせましょう。

- ◇ 基本的な生活習慣の確立は、子どもたちの学力向上に大きな力を与えます。まず、学習机、学習部屋が落ち着いて学習できる場になっているか確認し、整理整頓の指導をお願いします。また、時には、筆箱の中やノートの確認も行い、学習がスムーズに取り組める状態になっているか把握してください。

② 生活時間の計画を立てさせましょう。

- ◇ 学習の時間を設定していくと、どうしても問題になるのがゆとりある生活時間です。好きなことに取り組む、手伝いをする、家族との会話など、ゆとりある充実した時間を生み出すために、一番考えたいのがメディア視聴の時間設定です。一日のメディア視聴の時間や時刻を各家庭で決めてください。

③ 学習内容は「読み・書き・計算」を中心にした学習をまず考えましょう。

- ◇ 学力を高めるためには、まず基礎学力を徹底して定着させる必要があります。まずは、ドリル等を参考に取り組みさせてください。また、一日の復習では、教科書やノートを参考にして、一日の学習内容を振り返らせるようにしてください。

3 最後に学校からのお願い

① 見届け・確認をお願いします。

- ◇ 子どもたちが取り組んだ内容については、必ず見届けをお願いします。子どもさんが一つ一つ丁寧に取り組んでいるか、漢字など間違っていないか、分からないところはないか等、確認してください。お忙しい場合は、簡単に見届けのサインだけでも構いません。毎日続けることが大切です。

② 本読み・読書の時間を生活の一部として実践させてください。

- ◇ 「読み」はすべての学習の基本です。また、読書好きな子どもは、知識が豊富で学力も自然に高くなります。急には変化は現れないかもしれませんが、確かな力となります。毎日の生活の中で少しでも設定してください。音読カードのチェックもお願いします。

③ 何か問題がありましたら、生活ノート・プリント(連絡帳)をご利用ください。

- ◇ 荒川小学校では、生活ノート・日記プリント(低学年は連絡帳)等を活用しています。学校と家庭との連携を図る一助として考えています。問題を感じていること、理解不足の点など、どんなことでも結構ですのでご利用ください。